

なにな柳壇「今年の十秀」

【最優秀句】 来年は枕太鼓よ町を練れ (阿倍野)樋口 眞

ゲーム依存子等の未来が描けない

(堺・南)玉瀬 洋子

断捨離に僕はちよろちよろ妻はっば

(堺・西)柿花 和夫

着るものに頓着しない妻となる

(東大阪)末吉 利次

駭る目が人をあわれと思いがち

(東大阪)茂本 隆子

初産に男ちよろちよろしてるだけ

(天王寺)高杉 力

草に寝て五感澄まして秋をきく

(箕面)伊藤 修彦

踊り子も炎の恋も天城越え

(豊中)藤澤 明彦

間違つて覚えた漢字直らない(豊能)下野 京子

(堺・南)立石雉枝子

【最優秀句】 毒つくる人間こそが恐ろしい

(堺・南)綿井 寛治

もう少し生きて欲しいと苦しめる

(京都市)田部 和幸

ボンと膝打ってロタンが立ち上がる

(四條畷)阿部 俊八

来た道を逆走したい失意の日

(熊取)井上 昭

まっさらな白靴歩幅広くして

(寝屋川)吉田 靖子

左ネジ先入観を打ち砕く

(天王寺)辻 肇

問題点見えてよかったこの亀裂

(東大阪)松井 並樹

暖わいがええものと知る戎橋

(堺・西)山崎 達彦

気まぐれを通す何度も転げながら

(淀川)桑原すす代

川柳塔社相談役

西出楓楽選

【評】 最優秀句、昨年・今年

と日本中のほとんどの地で、伝統行事の催し物が中止になりました。やっと明かりが見えてきたと思つたら、また怪しげな株。来年はこの句のような年になるよう切なる願いを込めて最優秀句にしました。二句目、WHO(世界保健機関)が、ゲームで生活に困難を来す「ゲーム障害」を国際疾病に認定。「ゲームは1日60分」という条例を成立させた県もありま

す。三句目、断捨離に妻の方が思ひ切りがいいのは、夫が稼いだお金で買ったものが多く、執着がないからでしょうか。ご飯の炊き方の言葉がピタリと嵌り痛快な句に詠んであります。四句目、さらりと戸惑いが伝わります。病気が進行しないように、夫婦で出来る限りの努力をされますように。五句目、僧侶・有国智光の言葉「だれかを『かわいそう』というとき、自分は高みに立ったまま、安全圏にいる。相手のことを慈しんでい

てしようか」。六句目、妻の出産時、夫はほとんどの通りです。さて無事生まれてママが産後情緒不安定でマタニティーブルーになるように、パパも環境変化の影響でパタニティーブルーに?しっか

番傘川柳本社主幹

田中新一選

【評】 最優秀句——利便性を

追求し享受した人間が吐き出した毒は、CO₂・プラごみ・放射能汚染水等となって、地球環境を汚染し、人間が苦しむ結果を招いています。5月1日付の天声人語は「苦海浄土」の作家、石牟礼道子さんの言葉「環境汚染と言っても、汚してきたのは人間です。人類そのものが毒素なので」を紹介しています。気候変動の原因となる温室効果ガスは、

経済活動・日常生活に伴い排出されています。安心して暮らせる持続可能な経済社会をつくるためには、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、すべての人間が取り組まねばなりません。第二句——現行法では安楽死が認められておらず、家族と

取り戻したいものです。第九句——限られた命であるだけに、残された時間を誰にも邪魔されず、自分の思い通りに振舞う強い意志を感じさせる作品です。第十句——平凡な日々こそが幸せであり、ありがたいものだという作